

## 解析幾何 期末試験 (平成29年8月7日実施)

- [1] 空間のベクトル  $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3)$ ,  $\mathbf{b} = (b_1, b_2, b_3)$ ,  $\mathbf{c} = (c_1, c_2, c_3)$  に対し, スカラー・三重積  $[\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}]$  は次のように表されることを示せ:

$$[\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}] = \begin{vmatrix} a_1 & b_1 & c_1 \\ a_2 & b_2 & c_2 \\ a_3 & b_3 & c_3 \end{vmatrix}.$$

- [2]  $a, b, c, d$  を定数とし, ベクトル場  $V$  を次で定める:

$$V(x, y, z) = (x + ay - 4z, 2x - 4y + bz, cx - 3y + dz).$$

- (2-1)  $V$  がスカラー・ポテンシャルを持つとする.  $a, b, c$  を求めよ.  
 (2-2)  $V$  がベクトル・ポテンシャルを持つとする.  $d$  を求めよ.

- [3]  $f$  を 1 变数  $t$  のベクトル値関数とする.

- (3-1)  $f = |f|$  とおくとき,  $f \cdot f' = ff'$  を示せ.

- (3-2) 任意の  $t$  に対し  $f''(t)$  は  $f(t)$  と平行であるとする. このとき  $(f \times f')(t)$  は  $t$  に依らないことを示せ.

- [4] ベクトル場  $r$  を  $r(x, y, z) = xi + yj + zk$  で定め,  $r = |r|$  とおく.  $r \neq 0$  を満たす点で  $\nabla \frac{1}{r}$  および  $\Delta \frac{1}{r}$  を求めよ.

- [5] 曲線  $p$  を  $p(t) = (2t, -2t, t)$  で定める. また曲線  $p$  の点 O, A を  $O = p(0), A = p(1)$  で定める.

- (5-1) スカラー場  $f$  を  $f(x, y, z) = x - y + z$  で定める. 線積分  $\int_O^A f ds$  を求めよ.

- (5-2) ベクトル場  $V$  を  $V(x, y, z) = (3x, -2y, z)$  で定める. 線積分  $\int_O^A V \cdot dr$  を求めよ.

- [6]  $D = \{(x, y) \mid x^2 + y^2 \leq 4, y \geq 0\}$  とし,  $C$  を  $D$  の境界とする.  $C$  の向きを,  $D$  を左側に見る方向(反時計回りの方向)とする. このとき線積分  $\oint_C ((x^2 - y^2)dx + xydy)$  を求めよ.

- [7] 空間の点  $(2, 0, 0)$ ,  $(0, 1, 0)$  および  $(0, 0, 2)$  を頂点とする三角形を  $S$  とし,  $S$  の単位法線ベクトルとして第 1 座標が正のものを用いる.  $C$  を  $S$  の境界とする. このときベクトル場  $V(x, y, z) = (x, -x + y, z)$  に対し, 線積分  $\oint_C V \cdot dr$  を求めよ.

- [8]  $D$  を  $D = \{(x, y, z) \mid x^2 + y^2 \leq 1, 0 \leq z \leq 1\}$  とし,  $S$  を  $D$  の境界とする. このとき面積分  $\iint_S (xy^2 z dy dz - x^2 y z dz dx + x^2 z^2 dx dy)$  を求めよ.